

# FD NEWSLETTER



## CONTENTS

- 「アクティブ・ラーニング」  
への取り組み  
FD推進委員会小委員会委員長  
仏教学部教授 飯塚 大展
- 2015 年度「学生による授業アンケート」  
(後期) 集計結果
- 「駒澤大学における  
(アクティブ・ラーニング型授業)」  
FD推進委員会小委員会  
「新しい教育方法に関するWG」  
経済学部教授 小林 正人
- 平成27年度FD研修会

## 「アクティブ・ラーニング」への取り組み

### FD推進委員会小委員会委員長 仏教学部教授 飯塚 大展

平成 27 年度FD推進委員会小委員会（以下「小委員会」）の活動は、「駒澤大学教育に関する施策体系『中期事業計画』」（以下『中期事業計画』）への取り組みから始まった。

私にとって、『中期事業計画書』の作成は、「教員の職能開発（FD）」の意味を批判的に検討し、自発的な取り組みとしての「教育の質の改善」へと向かわせることを意味した。それはなかなか困難な過程であり、現在もその途次にある。「教育の本質」を問うような根源的な問い掛けに、しばしばたじろぐ自分がいた。しかし、それは同時に私が今まで触れてこなかった、新たな教育の仕組みや情報伝達手段及びその機器との邂逅であり、遅きに失したかも知れないが、小さな驚きの連続であった。

自画自賛になるが、「アクティブ・ラーニング」を遡る「小委員会」の議論や、ワーキンググループの討議は特に刺激的であった。『中期事業計画』においては「学士課程教育の一層の充実」を行動目標としているが、その具体的な行動計画の一つが「対面授業（学習）の多様化推進」であり、とりわけ「アクティブラーニング・PBLの推進」を掲げている以上、その定義は避けては通れない課題であった。そして、これらの用語を駒澤大学としてどのように定義するかということは急務であると実感した。

そこで、各学部において既に実践されている「アクティブ・ラーニング」「PBL」の授業実態の把握、学外組織との連携に関する調査も同時に行われ、これらの調査を通じて、多くの教員の協力が得られた。さらに、本年度FD研修会は「アクティブ・ラーニングの活性化をめざして」をテーマとして実施され、140名を超える参加者を得て活発な意見交換が行われ、本学のFD活動活性化の一面を目の当たりにすることとなった。

一方「小委員会」は、「アクティブ・ラーニング」と密接不可分である「ICT機器活用」に関して、学内の環境整備の必要性を痛感しており、その一貫として130周年記念棟の教育環境整備について提言を行っている。

最後に今年度、本学では「FD Circle」を制定した。各教員による Plan⇨Do⇨Check⇨Action という改善の循環を、FD Support と関連して機能させる、本学の制度的取り組みと言える。因みに「Circle」とは、教職員と学生が手を携え創意工夫していく自発的な活動にこそ根源があるとの考えに基づくものである。

## 2015年度「学生による授業アンケート」(後期) の集計結果について

2015年度「学生による授業アンケート」(後期)を以下のとおり実施した。

実施日	平成27年11月9日(月)～11月28日(土)
対象科目	1,756科目
対象者数	143,137人(延べ人数)
実施科目数	1,756科目
有効回答数	58,722件(41.0%)

### 【質問項目】

#### Q1. 所属学部学科等

20: 仏教 19: 国文 18: 英米文 17: 地理 16: 日本史学  
15: 外国史学 14: 考古学 13: 社会学 12: 社会福祉学  
11: 心理 10: 経済 9: 商 8: 現代応用経済 7: 法律A  
6: 法律B 5: 政治 4: 経営 3: 市場戦略  
2: 診療放射線技術科 1: グローバル・メディア

#### Q2. 学年

5: 4年 4: 3年 3: 2年 2: 1年 1: その他

Q3. どのような入学試験を受けて、あなたは本学に入学しましたか。

11: 一般入試 10: 大学入試センター試験利用入試  
9: 一般推薦入試 8: スポーツ推薦入試 7: 指定校推薦  
6: 附属校推薦入試 5: 留学生特別入試  
4: 帰国生特別入試 3: 編入学試験 2: その他  
1: 回答しない

Q4. この授業に何回欠席しましたか。

5: 0回 4: 1～2回 3: 3～4回 2: 5～6回 1: 7回以上

Q5. どのような理由でこの授業を履修しましたか。(複数回答可)

5: 授業内容に興味を持った  
4: 資格の取得  
3: 周りの人に勧められた  
2: 必修科目または選択必修科目だったから  
1: その他

Q6. この授業の予習・復習にあてた時間は1週間に何時間くらいでしたか。

5: 4時間以上  
4: 3時間以上～4時間未満  
3: 2時間以上～3時間未満  
2: 1時間以上～2時間未満  
1: 1時間未満

Q7. 授業に熱心に取り組みましたか。

Q8. 授業はほぼ定刻通りに行われていましたか。

Q9. 休講は少なく通常通り、授業は実施されましたか。

Q10. 受講を決める際にシラバスは役立ちましたか。

Q11. 授業にはおおむねシラバスの内容が反映されていたか。

Q12. この授業の進み方はあなたにとって適切でしたか。

Q13. 教科書・配付資料等は授業内容を理解するうえで効果的でしたか。

Q14. 担当教員の授業への取り組みには熱意が感じられましたか。

Q15. 教員の話し方・声のボリュームは聞き取りやすかったですか。

Q16. 板書や投影されたスクリーンの文字・図表等は見やすかったですか。

Q17. 教員は静粛な授業環境づくりに配慮していましたか。

Q18. 教員は学生からの意見や質問に対して適切に対応していましたか。

Q19. この科目の授業内容についてよく理解できましたか。

Q20. 授業内容に興味を持ってましたか。

Q21. あなたの学修目標を十分に達成できたと思いますか。

(Q7～21 選択肢)

5: とてもそう思う

4: そう思う

3: どちらとも言えない

2: あまりそう思わない

1: 全くそう思わない

Q22. この授業のよかった点を具体的に記入してください。

Q23. この授業の改善してほしい点を具体的に記入してください。

## 【学年別平均値】

表 1 はアンケート質問項目の学年別平均値を示したものである。

表 1 学年別の平均値

学年別	1 年	2 年	3 年	4 年
Q 4 平均値	4.2	4.2	4.0	3.5
Q 5 平均値	3.0	3.4	3.7	3.9
Q 6 平均値	1.4	1.4	1.4	1.6
Q 7 平均値	3.8	3.9	3.8	3.9
Q 8 平均値	4.2	4.2	4.2	4.4
Q 9 平均値	4.3	4.3	4.3	4.5
Q10 平均値	3.8	4.0	4.0	4.1
Q11 平均値	3.9	4.1	4.1	4.3
Q12 平均値	3.9	4.0	4.0	4.2
Q13 平均値	3.9	4.0	4.0	4.2
Q14 平均値	4.1	4.2	4.2	4.4
Q15 平均値	4.1	4.1	4.1	4.3
Q16 平均値	3.9	3.9	3.9	4.1
Q17 平均値	4.1	4.1	4.1	4.3
Q18 平均値	4.0	4.1	4.1	4.2
Q19 平均値	3.8	3.9	3.8	4.0
Q20 平均値	3.8	3.9	3.9	4.2
Q21 平均値	3.7	3.8	3.8	3.9
有効回答数	22,664	16,688	8,896	2,769

## 【入試形態との関連】

2010年度より、入試形態と学生の授業への取り組み（出席状況、予習・復習時間など）との関連を把握するために入学試験タイプの質問を追加している（Q3）。なお、回答は任意とした（回答率99.2%）。（表2 入試形態別の項目別平均値）

表2 入試形態別の項目別平均値

入試形態別	一般入試	大学入試センター試験 利用入試	一般推薦入試	スポーツ推薦入試	指定校推薦入試	附属校推薦入試	留学生特別入試	帰国生特別入試	編入学試験	その他	回答しない
Q4 平均値	4.1	4.0	4.2	3.9	4.1	4.1	4.4	3.8	3.9	4.3	4.2
Q5 平均値	3.3	3.2	3.3	3.0	3.3	3.2	3.8	3.3	3.4	3.5	3.4
Q6 平均値	1.4	1.4	1.4	1.5	1.4	1.4	2.0	1.8	1.5	1.5	1.6
Q7 平均値	3.8	3.7	3.8	3.9	3.8	3.8	4.3	3.9	3.9	3.8	3.6
Q8 平均値	4.2	4.2	4.2	4.2	4.2	4.2	4.5	4.2	4.3	4.2	4.2
Q9 平均値	4.3	4.3	4.3	4.3	4.3	4.3	4.6	4.2	4.5	4.3	4.3
Q10 平均値	3.9	3.8	3.9	4.0	3.9	3.9	4.4	3.8	4.1	3.9	3.8
Q11 平均値	4.0	4.0	4.0	4.1	4.0	4.0	4.4	4.0	4.2	4.0	3.9
Q12 平均値	3.9	3.9	3.9	4.0	3.9	3.9	4.3	4.0	4.2	3.9	3.8
Q13 平均値	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.3	4.1	4.2	3.9	3.8
Q14 平均値	4.2	4.2	4.2	4.2	4.2	4.2	4.5	4.4	4.4	4.3	4.0
Q15 平均値	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.4	4.3	4.3	4.2	4.0
Q16 平均値	3.9	3.9	3.9	4.0	3.9	3.9	4.4	4.0	4.2	3.9	3.8
Q17 平均値	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.5	4.2	4.3	4.2	4.0
Q18 平均値	4.1	4.0	4.0	4.1	4.0	4.1	4.4	4.2	4.3	4.1	4.0
Q19 平均値	3.8	3.8	3.8	3.9	3.8	3.8	4.2	3.8	4.0	3.8	3.6
Q20 平均値	3.9	3.9	3.9	3.9	3.8	3.9	4.2	4.0	4.1	3.9	3.7
Q21 平均値	3.8	3.8	3.7	3.9	3.7	3.8	4.1	3.7	4.0	3.8	3.6
有効回答数	27,050	5,261	5,131	1,400	5,572	4,610	766	65	418	333	411

【学部学科・専攻・部門別集計結果】授業担当者の所属別に、専任教員と非常勤教員を分けて集計をした。

表3 教員所属の学科・専攻・部門別平均値

(学部)学科・専攻・部門 専任・非常勤区分	(仏教) 禅			(仏教) 仏教			(文) 国文		
	全体	専任	非常勤	全体	専任	非常勤	全体	専任	非常勤
Q4 平均値	4.0	4.0	3.7	3.9	3.9	4.0	4.2	4.2	4.2
Q5 平均値	2.4	2.4	2.3	2.6	2.6	3.6	3.0	2.5	3.1
Q6 平均値	1.3	1.3	1.5	1.4	1.4	1.3	1.5	1.5	1.4
Q7 平均値	3.5	3.5	3.8	3.7	3.6	4.1	3.9	3.9	3.9
Q8 平均値	4.0	3.9	4.3	4.1	4.1	4.5	4.4	4.4	4.4
Q9 平均値	4.2	4.2	4.4	4.3	4.3	4.1	4.5	4.5	4.4
Q10 平均値	3.7	3.7	3.8	3.8	3.7	4.3	3.9	3.8	4.0
Q11 平均値	3.8	3.8	4.1	3.9	3.9	4.3	4.1	4.0	4.1
Q12 平均値	3.8	3.8	4.0	3.9	3.9	4.2	4.1	4.1	4.0
Q13 平均値	3.8	3.8	4.2	3.9	3.9	4.3	4.2	4.3	4.2
Q14 平均値	4.0	4.0	4.2	4.1	4.1	4.4	4.4	4.5	4.3
Q15 平均値	4.0	4.0	4.3	4.1	4.1	4.2	4.4	4.4	4.3
Q16 平均値	3.8	3.8	4.2	3.8	3.8	4.2	4.1	4.2	4.1
Q17 平均値	4.0	4.0	4.2	4.1	4.1	4.3	4.3	4.3	4.2
Q18 平均値	3.9	3.9	4.3	4.0	4.0	4.4	4.2	4.2	4.3
Q19 平均値	3.6	3.6	4.1	3.7	3.7	4.0	4.0	4.0	3.9
Q20 平均値	3.6	3.6	4.1	3.7	3.7	4.1	4.0	4.2	4.0
Q21 平均値	3.5	3.5	3.6	3.6	3.6	4.0	3.9	3.9	3.9
有効回答数	1,332			1,694			1,129		

(学部)学科・専攻・部門 専任・非常勤区分	(文) 英米文			(文) 地域文化			(文) 地域環境		
	全体	専任	非常勤	全体	専任	非常勤	全体	専任	非常勤
Q4 平均値	4.1	4.1	4.0	4.3	4.3	4.2	4.3	4.3	4.1
Q5 平均値	2.9	2.6	3.2	3.6	3.4	3.9	3.8	3.7	4.1
Q6 平均値	1.5	1.5	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	1.5	1.2
Q7 平均値	4.0	4.0	4.0	3.8	3.8	3.9	3.8	3.9	3.6
Q8 平均値	4.3	4.3	4.3	4.3	4.2	4.4	4.2	4.3	4.1
Q9 平均値	4.4	4.4	4.5	4.3	4.3	4.4	4.3	4.3	4.1
Q10 平均値	4.0	4.0	4.1	4.0	4.0	4.1	4.1	4.1	4.0
Q11 平均値	4.2	4.1	4.2	4.1	4.0	4.1	4.1	4.2	4.1
Q12 平均値	4.1	4.1	4.1	3.9	3.8	4.1	4.0	4.0	4.0
Q13 平均値	4.1	4.1	4.1	4.0	3.9	4.1	4.0	4.0	3.9
Q14 平均値	4.3	4.3	4.3	4.2	4.1	4.3	4.3	4.3	4.2
Q15 平均値	4.2	4.2	4.3	4.1	4.0	4.3	4.2	4.2	4.2
Q16 平均値	4.1	4.1	4.1	4.0	3.9	4.2	4.0	3.9	4.1
Q17 平均値	4.2	4.2	4.2	4.2	4.1	4.2	4.2	4.2	4.2
Q18 平均値	4.2	4.2	4.1	4.1	4.0	4.2	4.1	4.2	4.1
Q19 平均値	4.0	4.0	4.0	3.8	3.7	4.0	3.8	3.8	3.8
Q20 平均値	4.0	4.0	4.0	3.9	3.8	4.1	3.9	3.9	3.9
Q21 平均値	4.0	4.0	4.0	3.8	3.7	3.9	3.8	3.8	3.8
有効回答数	798			1,060			782		

(学部)学科・専攻・部門	(文) 日本史学			(文) 外国史学			(文) 考古学		
	専任・非常勤区分	全体	専任	非常勤	全体	専任	非常勤	全体	専任
Q4 平均値	4.2	4.3	4.1	4.2	4.4	4.2	4.4	4.4	4.4
Q5 平均値	3.5	3.2	3.8	3.4	2.8	3.8	3.3	2.8	3.7
Q6 平均値	1.4	1.4	1.4	1.4	1.3	1.5	1.4	1.3	1.4
Q7 平均値	3.8	3.9	3.7	3.7	3.6	3.8	3.9	3.9	3.9
Q8 平均値	4.1	4.0	4.2	4.1	3.7	4.3	4.2	4.3	4.2
Q9 平均値	4.2	4.2	4.3	4.1	3.9	4.3	4.3	4.3	4.4
Q10 平均値	3.9	3.9	4.0	3.9	3.6	4.1	3.9	3.9	4.0
Q11 平均値	4.0	4.0	4.0	3.9	3.7	4.1	4.1	4.0	4.1
Q12 平均値	3.9	3.9	3.8	3.8	3.6	4.0	4.0	3.9	4.0
Q13 平均値	4.0	4.0	4.0	3.9	3.6	4.1	4.1	4.1	4.1
Q14 平均値	4.1	4.1	4.1	4.2	3.9	4.4	4.3	4.3	4.3
Q15 平均値	3.9	3.9	4.0	4.1	3.9	4.3	4.0	3.9	4.1
Q16 平均値	3.7	3.7	3.8	3.9	3.8	4.0	3.9	4.0	3.8
Q17 平均値	4.1	4.1	4.1	4.1	4.0	4.2	4.2	4.2	4.2
Q18 平均値	4.0	4.0	4.0	4.0	3.8	4.1	4.2	4.2	4.2
Q19 平均値	3.7	3.8	3.7	3.7	3.4	3.9	3.8	3.8	3.9
Q20 平均値	3.8	3.8	3.8	3.8	3.5	4.0	4.0	3.9	4.0
Q21 平均値	3.7	3.7	3.7	3.6	3.4	3.8	3.8	3.8	3.9
有効回答数	1,273			712			562		

(学部)学科・専攻・部門	(文) 社会学			(文) 社会福祉学			(文) 心理		
	専任・非常勤区分	全体	専任	非常勤	全体	専任	非常勤	全体	専任
Q4 平均値	4.3	4.3	4.3	4.3	4.4	4.3	4.2	4.2	4.1
Q5 平均値	3.6	3.1	4.1	3.9	3.9	3.9	3.8	3.4	3.9
Q6 平均値	1.4	1.3	1.5	1.3	1.3	1.3	1.3	1.2	1.3
Q7 平均値	3.9	3.8	4.1	3.9	3.9	3.9	3.8	3.8	3.8
Q8 平均値	4.3	4.2	4.3	4.3	4.2	4.3	4.3	4.3	4.3
Q9 平均値	4.3	4.3	4.4	4.3	4.4	4.2	4.4	4.3	4.4
Q10 平均値	4.0	3.9	4.1	4.0	4.1	3.9	3.9	4.0	3.9
Q11 平均値	4.1	4.1	4.1	4.0	4.1	4.0	4.0	4.1	4.0
Q12 平均値	3.9	4.0	3.8	4.1	4.2	4.0	4.0	4.0	4.0
Q13 平均値	3.8	4.1	3.5	4.2	4.4	4.1	4.0	4.1	4.0
Q14 平均値	4.1	4.3	4.0	4.3	4.5	4.3	4.2	4.2	4.2
Q15 平均値	4.0	4.2	3.7	4.2	4.5	4.1	4.1	4.2	4.1
Q16 平均値	3.6	3.8	3.5	4.1	4.3	3.9	4.0	3.9	4.0
Q17 平均値	4.2	4.1	4.2	4.3	4.4	4.2	4.2	4.2	4.2
Q18 平均値	4.0	4.1	3.8	4.2	4.4	4.1	4.1	4.1	4.1
Q19 平均値	3.8	3.9	3.7	4.0	4.1	4.0	3.9	3.9	3.9
Q20 平均値	3.9	3.9	3.8	4.1	4.3	4.1	4.0	4.0	3.9
Q21 平均値	3.7	3.8	3.7	3.9	4.0	3.9	3.8	3.8	3.8
有効回答数	539			632			2,116		

(学部)学科・専攻・部門	(経済) 経済			(経済) 商			(経済) 現代応用経済			
	専任・非常勤区分	全体	専任	非常勤	全体	専任	非常勤	全体	専任	非常勤
Q4 平均値		4.2	4.2	4.1	4.1	4.1	4.0	4.2	4.3	4.2
Q5 平均値		3.7	3.6	3.8	3.7	3.6	3.9	3.6	3.4	3.9
Q6 平均値		1.5	1.5	1.4	1.5	1.4	1.7	1.4	1.4	1.4
Q7 平均値		3.8	3.8	3.9	3.9	3.9	3.7	4.0	4.0	4.0
Q8 平均値		4.2	4.1	4.2	4.2	4.2	4.2	4.3	4.2	4.3
Q9 平均値		4.2	4.2	4.3	4.3	4.3	4.3	4.4	4.4	4.4
Q10 平均値		4.0	3.9	4.0	4.0	4.0	4.0	4.1	4.1	4.1
Q11 平均値		4.0	4.0	4.1	4.1	4.1	4.1	4.2	4.2	4.2
Q12 平均値		4.0	3.9	4.0	3.9	3.9	3.9	4.1	4.1	4.1
Q13 平均値		4.0	3.9	4.1	4.0	4.0	4.0	4.1	4.1	4.1
Q14 平均値		4.2	4.1	4.2	4.1	4.1	4.1	4.3	4.3	4.2
Q15 平均値		4.1	4.1	4.1	4.1	4.2	4.0	4.3	4.3	4.3
Q16 平均値		3.9	3.9	4.0	3.9	3.9	3.9	4.1	4.1	4.1
Q17 平均値		4.1	4.1	4.1	4.1	4.2	4.0	4.2	4.2	4.3
Q18 平均値		4.1	4.0	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1
Q19 平均値		3.8	3.8	3.9	3.9	3.9	3.9	4.0	4.0	4.0
Q20 平均値		3.9	3.8	4.0	3.9	3.9	3.9	4.0	4.0	4.0
Q21 平均値		3.8	3.7	3.9	3.8	3.8	3.8	4.0	4.0	3.9
有効回答数		3,951			1,536			1,751		

(学部)学科・専攻・部門	(法) 法律			(法) 政治			(経営) 経営			
	専任・非常勤区分	全体	専任	非常勤	全体	専任	非常勤	全体	専任	非常勤
Q4 平均値		3.9	3.8	3.9	3.9	3.9	3.9	3.9	3.9	4.0
Q5 平均値		3.4	3.1	3.7	3.4	3.3	3.5	3.2	3.1	3.5
Q6 平均値		1.5	1.5	1.4	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.6
Q7 平均値		3.7	3.6	3.8	3.7	3.8	3.7	3.7	3.6	3.8
Q8 平均値		4.1	4.0	4.2	4.2	4.2	4.2	4.2	4.2	4.2
Q9 平均値		4.2	4.2	4.2	4.2	4.1	4.3	4.2	4.3	4.2
Q10 平均値		3.9	3.8	3.9	4.0	4.0	3.9	3.8	3.8	3.9
Q11 平均値		4.0	4.0	4.0	4.0	4.1	4.0	3.9	4.0	3.9
Q12 平均値		3.9	3.8	3.9	4.0	4.0	3.9	3.9	3.8	4.0
Q13 平均値		3.9	3.9	3.9	4.0	4.0	3.9	3.9	3.9	4.0
Q14 平均値		4.1	4.1	4.2	4.2	4.2	4.1	4.1	4.1	4.2
Q15 平均値		4.0	4.0	4.1	4.1	4.1	4.0	4.0	4.0	4.2
Q16 平均値		3.8	3.8	3.8	3.9	3.9	3.9	3.8	3.8	4.0
Q17 平均値		4.1	4.2	4.1	4.1	4.2	4.1	4.1	4.1	4.1
Q18 平均値		4.0	3.9	4.0	4.1	4.2	4.1	4.0	4.0	4.1
Q19 平均値		3.7	3.6	3.8	3.8	3.9	3.7	3.7	3.7	3.8
Q20 平均値		3.8	3.8	3.9	3.9	4.0	3.8	3.8	3.7	3.9
Q21 平均値		3.6	3.6	3.7	3.7	3.8	3.7	3.7	3.6	3.8
有効回答数		4,839			2,658			3,572		

(学部)学科・専攻・部門	(経営)市場戦略			(医療健康科)			(GMS)		
	全体	専任	非常勤	全体	専任	非常勤	全体	専任	非常勤
専任・非常勤区分									
Q4 平均値	4.0	4.0	3.9	4.7	4.7	4.7	4.1	4.1	4.2
Q5 平均値	3.4	3.3	3.8	2.2	2.2	2.2	3.3	3.5	3.0
Q6 平均値	1.4	1.4	1.4	1.5	1.5	1.3	1.5	1.4	1.7
Q7 平均値	3.8	3.8	3.8	3.8	3.9	3.7	4.0	3.9	4.2
Q8 平均値	4.2	4.2	4.2	4.2	4.2	4.0	4.4	4.4	4.4
Q9 平均値	4.4	4.3	4.4	4.4	4.4	4.2	4.4	4.4	4.4
Q10 平均値	3.8	3.8	4.0	3.7	3.7	3.6	4.0	4.0	4.0
Q11 平均値	4.0	3.9	4.1	3.9	3.9	3.8	4.1	4.1	4.2
Q12 平均値	3.8	3.8	3.9	3.9	3.9	3.6	4.0	4.0	4.1
Q13 平均値	3.9	3.9	4.0	4.0	4.0	3.6	4.1	4.0	4.1
Q14 平均値	4.1	4.1	4.0	4.2	4.2	4.0	4.2	4.2	4.3
Q15 平均値	3.9	4.0	3.9	4.1	4.1	3.8	4.2	4.1	4.5
Q16 平均値	3.9	3.8	4.0	3.9	4.0	3.8	4.1	4.1	4.2
Q17 平均値	4.0	4.0	4.0	4.1	4.1	3.9	4.2	4.2	4.2
Q18 平均値	4.0	4.1	3.9	4.1	4.1	3.8	4.1	4.1	4.3
Q19 平均値	3.7	3.7	3.7	3.8	3.8	3.5	4.0	3.9	4.1
Q20 平均値	3.8	3.8	3.9	3.9	3.9	3.6	4.1	4.0	4.2
Q21 平均値	3.7	3.7	3.7	3.7	3.7	3.5	3.9	3.9	4.0
有効回答数	1,553			960			1,169		

(学部)学科・専攻・部門	(総合教育研究)文化学			(総合教育研究)自然科学			(総合教育研究)日本文化		
	全体	専任	非常勤	全体	専任	非常勤	全体	専任	非常勤
専任・非常勤区分									
Q4 平均値	4.1	4.1	4.1	4.2	4.1	4.2	4.1	4.2	4.0
Q5 平均値	3.6	3.5	3.7	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.2
Q6 平均値	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3
Q7 平均値	3.6	3.7	3.6	3.9	3.9	3.8	4.0	3.9	4.0
Q8 平均値	4.1	4.1	4.1	4.3	4.3	4.3	4.3	4.3	4.4
Q9 平均値	4.3	4.3	4.2	4.4	4.4	4.4	4.4	4.4	4.4
Q10 平均値	3.8	3.9	3.8	4.1	4.1	4.1	4.2	4.2	4.2
Q11 平均値	4.0	4.0	3.9	4.1	4.1	4.1	4.2	4.2	4.2
Q12 平均値	3.9	4.0	3.9	4.0	4.0	3.9	4.1	4.1	4.1
Q13 平均値	3.9	4.0	3.8	4.0	4.1	3.9	4.1	4.1	4.3
Q14 平均値	4.1	4.2	4.0	4.2	4.2	4.2	4.4	4.4	4.4
Q15 平均値	4.0	4.2	3.9	4.2	4.2	4.2	4.3	4.3	4.2
Q16 平均値	3.8	3.9	3.7	4.0	4.0	3.9	4.0	4.0	4.1
Q17 平均値	4.0	4.1	4.0	4.1	4.2	4.1	4.2	4.2	4.2
Q18 平均値	3.9	4.0	3.9	4.0	4.0	4.0	4.2	4.2	4.2
Q19 平均値	3.7	3.8	3.7	3.9	3.9	3.8	4.0	4.0	4.1
Q20 平均値	3.8	3.9	3.7	4.0	4.0	3.9	4.1	4.1	4.2
Q21 平均値	3.7	3.8	3.6	3.8	3.8	3.8	4.0	4.0	4.0
有効回答数	3,664			1,827			965		



(学部)学科・専攻・部門	(総合教育研究) 外国語第一			(総合教育研究) 外国語第二			(総合教育研究) スポーツ・健康科学		
	専任・非常勤区分	全体	専任	非常勤	全体	専任	非常勤	全体	専任
Q4 平均値	4.2	4.2	4.3	4.2	4.2	4.3	4.3	4.3	4.4
Q5 平均値	2.3	2.8	2.2	2.7	2.9	2.6	3.2	3.4	2.9
Q6 平均値	1.6	1.7	1.5	1.6	1.6	1.7	1.2	1.2	1.1
Q7 平均値	3.8	3.8	3.8	3.9	3.9	3.9	4.4	4.4	4.3
Q8 平均値	4.2	4.1	4.2	4.2	4.3	4.2	4.4	4.4	4.4
Q9 平均値	4.4	4.2	4.4	4.4	4.4	4.4	4.4	4.5	4.2
Q10 平均値	3.7	3.7	3.7	3.8	3.9	3.8	4.0	4.0	3.9
Q11 平均値	3.9	3.8	3.9	4.0	4.0	4.0	4.1	4.1	4.1
Q12 平均値	3.9	3.7	3.9	4.0	4.0	3.9	4.2	4.2	4.2
Q13 平均値	4.0	3.8	4.0	4.1	4.2	4.0	3.9	3.9	3.8
Q14 平均値	4.1	4.0	4.1	4.2	4.3	4.2	4.4	4.4	4.4
Q15 平均値	4.1	4.0	4.1	4.2	4.3	4.2	4.5	4.5	4.5
Q16 平均値	3.9	3.7	4.0	4.0	4.1	4.0	3.9	4.0	3.9
Q17 平均値	4.0	4.0	4.0	4.1	4.2	4.1	4.1	4.1	4.2
Q18 平均値	4.0	4.0	4.1	4.1	4.2	4.1	4.3	4.3	4.2
Q19 平均値	3.9	3.8	3.9	3.9	3.9	3.9	4.3	4.3	4.3
Q20 平均値	3.8	3.7	3.8	3.9	4.0	3.9	4.3	4.3	4.3
Q21 平均値	3.8	3.7	3.8	3.8	3.7	3.8	4.2	4.2	4.2
有効回答数	4,909			2,393			1,109		

(学部)学科・専攻・部門	(総合教育研究) 教職課程		
	専任・非常勤区分	全体	専任
Q4 平均値	4.3	4.3	4.3
Q5 平均値	3.9	3.8	4.0
Q6 平均値	1.3	1.4	1.2
Q7 平均値	3.9	3.9	3.9
Q8 平均値	4.3	4.4	4.3
Q9 平均値	4.4	4.5	4.3
Q10 平均値	4.0	4.1	4.0
Q11 平均値	4.1	4.2	4.0
Q12 平均値	4.1	4.1	4.1
Q13 平均値	4.1	4.2	4.1
Q14 平均値	4.3	4.4	4.2
Q15 平均値	4.2	4.3	4.2
Q16 平均値	4.0	4.1	4.0
Q17 平均値	4.1	4.2	4.1
Q18 平均値	4.1	4.2	4.0
Q19 平均値	4.0	4.1	4.0
Q20 平均値	4.0	4.0	4.0
Q21 平均値	3.9	4.0	3.9
有効回答数	1,449		

## 「学生による授業アンケート（後期）」集計結果の概況について

（全般的状況）

2015年度の「学生による授業アンケート（後期）」は、前期と同じ内容・方法で、昨年11月9日（月）から28日（土）の期間にかけて実施された。

対象科目数は専任・非常勤あわせて1,756科目、対象者数（延べ人数）は143,137人、有効回答数は58,722件であった。学生回答率は41.0%で、前期（58.7%）からの落ち込みが大きい。昨年度も前期56.2%に対して後期40.6%となっており、例年とほぼ同じ傾向にあるといえる。

学年別の回答率をみると、これも例年と同様、学年が進むにつれて回答率が下がる傾向がみられる。1年生の56.2%に対して、2年生は42.2%、3年生は32.3%、そして4年生は16.9%と極端に低くなっている。

教員の所属別にみた学生回答率では、ほとんどの学部学科等で30%台後半から50%台となっており、仏教学部、文学部、医療健康科学部、総合教育研究部（外国語・スポーツ・教職）のように比較的履修学生数の少ない科目が多い部門において回答率が高くなる傾向もみられる。専任・非常勤別では、専任担当科目39.8%、非常勤担当科目42.3%となっているが、所属学部等によるばらつきも大きい。

アンケート対象科目を担当する教員のC-Learningへのログイン状況（授業アンケート開始後）は42.3%（専任54.9%、非常勤35.2%）となっており、前期と比較してログイン状況は若干低下している。教員のログイン状況別の学生回答率では、授業アンケート開始後にログインした教員の担当科目が45.2%、未ログインの教員の担当科目が36.0%となっている。

（設問項目と今回の回答状況）

設問項目は前期同様21項目で、「学生の属性（Q1～Q3）」、「学生自身の自己評価（Q4～Q7）」、「休講・開始（終了）時間（Q8～Q9）」、「シラバス（Q10～Q11）」、「授業内容・配布資料等（Q12～Q13）」、「教員の熱意・授業運営（Q14～Q18）」、「学生自身の理解度・興味・達成度（Q19～Q21）」に大別される。示されたデータは2015年度後期のみデータではあるが、以下、設問項目のいくつかについて、今回の結果（全体の平均）を学生の属性別に見てみたい。

学生の出席状況（Q4）は、学年別にみると1年生・2年生が4.2、3年生が4.0、4年生が3.5で、例年同様、学年が進むにつれて出席状況は悪くなる傾向がみられる。

学部学科別では、医療健康科学部が4.7と突出して高いが、同学部は理系の学部であり、また国家資格の指定科目が多いことも影響している。また入試形態別では、留学生入試の入学率が4.4と最も高い。

シラバス関連の設問では、1年生の評価が低く、学年が進むにつれて評価が高くなる傾向がみられる。これは、入学したばかりの1年生は授業の履修やシラバスについて不慣れであることも一因であると考えられる。

教員の熱意・授業運営では、おおむね学年が進むほど評価も高くなる傾向がみられる。これは、大学では中等教育機関に比べて受講者数の多い科目が増え、同時に学習面でも学生の主体性・能動性が求められるため、特に1年生ではそれまでの受動的な面が強い学校教育と比較して物足りなさを感じやすいと思われること、学年が進むほど大学の授業環境に慣れてくることも背景として考えられよう。

学生自身の理解度・興味・達成度でも、同様に学年が進むにつれて評価が高くなる傾向がみられる。学年が高くなるほど、周辺知識も増えて授業が理解しやすくなることなどが関係しているものと思われる。

なお、本学の教育力の変化をみるには、今回示されたような単年度のデータだけではなく、時系列データの分析も有効であろう。設問・選択肢の内容が同様で比較可能と考えられる項目のいくつかについてみてみると、「休講は少なく通常通り授業は実施されていましたか」については前年度からほぼ変動はない。「授業に熱心に取り組みましたか」「担当教員の授業への取り組みには熱意が感じられましたか」についても大きな変動はないものの、一昨年度に比べてごくわずかながら上昇している。今後、回答傾向の経年変化（個別・全体）を把握するための設問項目・選択肢の工夫も求められる。

（今後に向けて）

FD推進委員会及び小委員会においては、今年度の授業アンケートの実施状況を踏まえ、次年度に向けてアンケート項目を改善すべく検討が進められているところである。現時点では、設問の文言修正のほか、一部設問における選択肢の拡充、教員自由設定質問の復活、などが検討されている。

本学で、学生による授業アンケートが導入されて12年になる。設問項目や実施方法等については、議論の積み重ねによって毎年少しずつ修正が加えられてきた。これからも、大学におけるFDの一環として授業アンケートがよりよく改善され、本学の教育力の向上に役立てられていくことを期待したい。

（長尾 譲治）

## 連載企画：よりよい教育のために

「駒澤大学における  
〈アクティブ・ラーニング型授業〉」

FD 推進委員会小委員会

「新しい教育方法に関するWG」

経済学部 教授 小林 正人

今年度のFD推進委員会は、「アクティブ・ラーニングの活性化」をテーマにさまざまな活動を行なった。その一つはFD研修会（2月1日）であるが、その準備の過程で、専任教員を対象に、「学外組織と連携したアクティブ・ラーニング実施状況調査」（2015年11月）を行ない、24件の回答をいただいた。これにより、駒澤大学でも、学外組織（企業、病院、博物館など）と連携したさまざまなアクティブ・ラーニング（学生による能動的学習）が実現していることが分かった。調査に御協力いただいた先生方に感謝申し上げるとともに、以下では学部ごとに、アンケート結果の概略をまとめておきたい。

文学部には、公文書館や資料館で実際の史料を見聞する授業があるほか、古墳の発掘や、見学者にたいする説明会の講師役に学生が参加する実習授業がある。また、奄美大島や石垣島の文化、歴史、自然環境などを学生が調査研究する授業もある。

経済学部には、特定の企業の特許の活用法についてアイデアを出すプロジェクトに学生が参加するゼミがある。

経営学部には、特定の企業の商品企画、新製品開発、販売戦略の策定に学生が参加するゼミがあるほか、商店街の各商店の品揃えや店主の個性を紹介する情報誌を学生が編集した授業もある。

医療健康科学部では、病院から実際の検査画像等を提供してもらい、画像診断や解剖にかかわる学生の能力の養成に役立っている授業があるほか、複数の学生がチーム（模擬企業）をつくり、たがいに競争しながら新システムの販売提案書を作成するという「職業体験シミュレーション」を組み込んだ授業がある。

GMS学部には、企業の商品の特徴を生かせる販売促進策を学生が立案し、その内容をグループ間で競いあうことにより、よりよいアイデアに仕上げるワークショップ型の授業がある。

さて、今回の調査は「学外組織と連携した」実例である。本学の演習（ゼミ）ならば、学生のプレゼンテーションや学生どうしのディスカッションなど「学生による能動的学習」の時間が含まれているのは普通であろう。

このように、アクティブ・ラーニングの形は多様である。アクティブ・ラーニングには成績評価の上で難があるものの、これを組み込んだ授業、つまりアクティブ・ラーニング型授業が、学生の能動的学習意欲を活性化する効果があることは確かである。

今後は、一般の大人数授業についても、可能なところでは、授業の中にアクティブ・ラーニングの時間を組み込んで、学生の能動的な学習意欲をかき立てる試みが求められていると言えよう。

 平成27年度FD研修会

平成27年度FD研修会は、2月1日（月）午後2時から5時まで1-301教場で行われた。テーマは「アクティブ・ラーニングの活性化をめざして」で、青山学院大学情報メディアセンターの湯浅且敏先生に基調講演をしていただいた後、本学の長山宗広先生（経済学部現代応用経済学科）と中嶋真也先生（文学部国文学科）に実践報告をしていただき、さらに3人の先生によるパネルディスカッションに十分な時間をとった。

湯浅且敏先生は、「アクティブ・ラーニングがなぜ必要なのかー「アクティブ・ラーニング型授業」とは何かー」というタイトルで、アクティブ・ラーニングの定義と必要性、青山学院大学での取り組みについてお話ししてください。社会構成主義の考え方にしたがえば、学習とは「他者との協調を通して」「自身の経験や知識を元に情報を解釈し、自身の知識として構築する活動」であるが、これを大規模授業で実現するためにはLMS（Learning Management System）などのICT活用が有効であり、LMSによってグループワークの可視化とプロセスの評価が可能になる、という説明は明快で説得的であった。

長山宗広先生は、「産学連携により学生の社会人基礎力を高める」というタイトルで、文部科学省の「就業力GP」に採択された経済学部・GMS学部の就業力育成科目群（2011～2014年度）にあった産学連携事業「ビジネスマッチング交流会」を中心に、いくつかの事例とその成果をご報告された。産学連携は、学生にアポイント・企業訪問・取材といった社会経験を与えるだけでなく、企業にとっても自社のPRになるなど、WIN-WINの関係になり得るという指摘は印象に残った。

中嶋真也先生は、「日本古典文学をアクティブ・ラーニングで学ぶ」というタイトルで、2015年3月27日に法政大学で行われた5大学合同の「わくわく♪文学ワークショップ」と、その経験を生かした新入生セミナーでの実践をご報告された。歌物語を創って演じたり、和歌の

キャッチコピーをプレゼンしたりすることには、コミュニケーション力を伸ばし、文学の楽しみを再発見する効果があるが、グループワークの成功には、それに先立つしっかりとした個人ワークが不可欠であるという重要な指摘もあった。

パネルディスカッションでは、湯浅先生から長山先生と中嶋先生の実践についてコメントをいただいた後、両先生に補足説明や湯浅先生への質問など自由に発言していただいた。会場からは、学生や教員における ICT 習熟度のばらつき、グループワークを好まない学生の存在、従来型授業との関係など、多数の質問が出された。

参加者 147 名の盛会となり、本学における FD 活動の活発化を実感できる研修会であった。

(FD 推進委員会小委員会「新しい教育方法に関する WG」

東 辰之介)



(パネルディスカッションの様子)

## 平成 28 年度新規採用教員オリエンテーション 開催のお知らせ

新規採用の専任教員及び非常勤講師を対象にした「平成 28 年度新規採用教員オリエンテーション」を、平成 28 年 4 月 1 日 (金) に本部棟中央講堂にて開催いたします。

オリエンテーションを開催する目的は、本学の建学の理念、教育目的を理解いただき、授業に臨んでいただくこと、本学の様々な施設や事務手続きをお知らせし、授業を円滑に進めていただきたいこと、そして実際の授業運営にあたって、個人情報保護やハラスメント防止に留意していただきたいこと等をお伝えすることにあります。

## 編集後記

『FD NEWSLETTER 第 46 号』が発行の運びとなりました。

第 46 号では、「巻頭言」を FD 推進委員会小委員会委員長の飯塚大展先生にご執筆頂きました。また「FD 研修会報告」につきましては、東辰之介先生にご執筆頂きました。ご執筆頂いた先生方に心より感謝申し上げます。なお連載企画「よりよい教育のために」は 46 号編集委員の小林正人先生が、「学生による授業アンケート (後期) 集計結果の概況について」は同じく編集委員の長尾が担当いたしました。

本学の今年度の FD 活動をふり返ると、学生による授業アンケートについては、結果が学長・副学長及び所属学部等の長に公開されることとなりました。また、次年度からシラバスに「学生による授業アンケート結果等による授業内容・方法の改善について」という項目が新設されました。

公開授業については、公開授業実施者と参加者の双方の研修という観点から、「実施結果報告書」を第三者が記入・提出することとされ、また教授会で実施結果についての報告がなされることとなりました。

FD 研修会については、教育界においてアクティブ・ラーニングの推進が課題となっており、中教審も推進の方向性を掲げていることから、今年度は「アクティブ・ラーニングの活性化をめざして」と題して 2 月 1 日 (月) に開催されました。教員に出欠を取り、半日かけての充実した研修会となりました。

本学では、教育改革を主体的に推進するとともに、その成果を「私立大学等改革総合支援事業」の採択に結び付けていくことが目指されています。FD の分野では、シラバスの充実とチェック体制、学生による授業評価結果の活用と公開、アクティブ・ラーニングの推進、学生の学修成果の把握などが重点目標として掲げられています。FD の趣旨、及び教授会・委員会等での審議に基づく全学教員の合意を前提としながら、次年度に向けた課題に取り組んでいくことが求められています。

(小林正人、長尾譲治)

【タイトル横の写真は、FD 研修会の様子】

FD NEWSLETTER Mar. 2016 第 46 号

発行日：2016 年 3 月 15 日

発行者：駒澤大学 F D 推進委員会

〒154-8525 東京都世田谷区駒沢 1-23-1

TEL 03-3418-9444 Fax 03-3418-9114

(事務局：教務部)